

ほけんだよい

2014年12月 長野北高等学校 保健室



今年ももう残りわずかとなりました。振り返って反省をしたりするとともに、やり残したことを済ませて新しい年に向けて準備をする時期です。

卒業や進級を控えています。目標を持って一年を締めくくりましょう



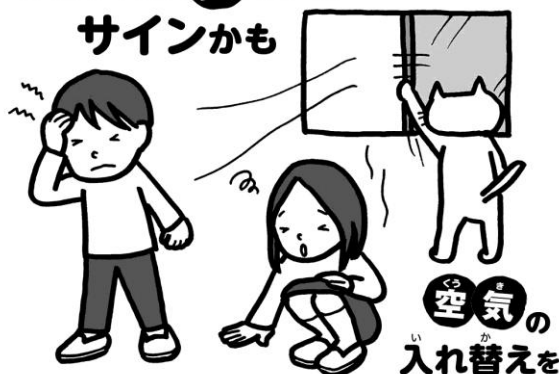
風邪・インフルエンザを予防しよう



エアコンが
教室に入ります

寒くても
窓を開けて、
換気をしま
しょう

その症状 **換気** の
サインかも



マスクは家から
つけてこよう!

予備のマスクも
持ってこよう



◆性感染症を防ぐために◆



性感染症とは・・・

性感染症とは、おもに性行為等、性的な接触でうつる感染症です。性器だけでなく、口や肛門などの粘膜や傷口などからも感染します。

性感染症の中には、症状がなく、感染していても気づかない種類もあります。そのため気づかないうちに他の人にうつしてしまうことがあります。

*性器クラミジア感染症

(潜伏期間2～3週間)

男性…これといった症状がない。排尿時の痛みやかゆみ、膿などの分泌物が出て不快感がある、など。

女性…下腹部の鈍痛やおりものが増える程度で気づかないことが多い。



治療には、抗生物質などを服用します。ほうっておくと男女とも、不妊症になったりします。

*性器ヘルペス

(潜伏期間2～10日)

男女とも外性器に1～3ミリの水泡ができ、破れると強い痛みがあります。排尿時にも痛みがあります。

女性の場合は外陰部の強い痛みで歩行や排尿が困難になります。

治療には抗ウイルス剤などを服用し1週間ぐらいで治まりますが再発しやすく、完治はしません。



*淋菌感染症 (潜伏期間2日～1週間)

男性は排尿時に激しい痛みがあったり、精巣が腫れ熱が出ます。

女性はほとんど症状がなく、おりものが増える程度。

早期に抗菌薬で治療する。放置すると、不妊の原因になることがあります。

*尖形コンジローマ

(潜伏期間3カ月程度)

性器や肛門周辺に多数発生し、薄ピンクのイボができる。

薬を塗ったり、イボを取り除く外科的治療を行ったりする。

気になることがあるときには勇気を出して検査を受けてください。ほとんどの性感染症は検査でわかります。女の子は産婦人科、男の子は泌尿器科や皮膚科で診てもらいましょう。パートナーと一緒に治療を受けるようにしましょう。